

# 新潟民商

新潟民主商工会  
新潟市中央区西3丁目10-14  
電話(243)0141

12年7月2日

## ネットで集会を知って

### 私も参加すると新会員

新潟民商から六名の代表が参加しました。前日「参加したい」と言ってきた中央支部の会員の人々が「ネットで集会を知って、自費で参加しようと思っていた。新潟県からの参加があると知って民商に連絡した」とのこと。

集会が始まると、早速ビデオに撮影、従業員と子供に報告するそうです。熱意に感激しました。

### 増税反対の熱気みなぎる集会

大会では「民自公の三党の暴挙に抗議」(大黒全労連議長)「新しい政権に臨んだ『生活第一』はどこにいったのでしょうか。消費税増税は絶対に許せません」(山根主婦連会長)「政府には震災復興は目に入っていない」「民自公は(綱島復興みやぎ県民センター)」「民自公は国会の中では多数かもしれないが、国民の中では日に日に孤立を深めている」(志位共産党委員長)と各界から決意表明。そして、元気なシュプレヒコールがこだまし、会場内には、全国の民商の旗が多数見られ、全商連・民商の頑張りが伝わってきました。

### 元気にデモ行進！都庁近くで共済会総会会場の脇を通る

デモ隊は一番長い新宿コースを歩きました。沿道から手を振る人もいて元気が出ました。曇っていた天気は午後には晴天で、デモ日和。しかし、少し疲れました。デモ解散地点は、東京都庁近く。すぐそばで全商連共済会総会が開催されており、参加していた菅原副理事長と佐藤専務理事が、会場のビルから新潟県の隊列を見つけたことを、後から聞きました。

(事務局・野沢記)

## より民商らしい共済めざして

### 全商連共済会第二二回定期総会開く

6月23日の総会は偶然にもデモ行進団の姿が見える会館で行われ、国民大集会と呼応した総会となりました。菅原副理事長と佐藤専務理事が出席しました。

総会では、「より民商らしい共済」めざして次の3点が強調されました。①会員・配偶者の加入率を大幅引き上げる、②班に共済係、支部に共済役員をつくり、班・支部を土台にした助け合いのできる共済会、③全会員が参加する集団検診(大腸がん検診など)を取り組む。

総会成功めざす加入促進旬間(6月1日〜24日)の取り組みでは、A会員の加入が9名、配偶者の加入が10名、附則(旧制度)の新制度移行が2名でした。

新潟民商共済会は引き続き当面の目標であるA会員加入90%早期達成と、配偶者加入(新商連平均)32%の早期達成めざして奮闘します。

### 全商連共済会第二二回総会に参加して

#### 山潟支部 菅原ミヨ子

六月二十三・二十四日東京で開かれました。全国から287人、新潟県から一〇人参加しました。全体会発言を聴いて、全国どこも悩みは同じだと思いました。

いのちと健康を守る運動で新潟県は二千八十五人が「大腸がん検診」を受診し、陽性者187人、再検査を受けた人94人、実際に大腸がんが見つかった人二人でした。新潟県は、再検査を受診する人も多く、特に再検査時の五千円補助は新潟県だけでした。

国保では、20%の人が滞納し、病院へ行きたくても行けず手遅れになる人もいるそうです。保険業法が再改定される中、皆様の署名のおかげで、その対象外にさせました。その法律も2015年に見直しという可能性もあり、引き続き保険業法規制反対の運動を広げ、政府・金融庁の動きへの監視を強めることが重要です。

TPPの問題も深刻です。アメリカが要求するように一度保険と同一化されて同じ競争条件を押し付けられれば、それを元に戻すことはできなくなります。日本国民は将来的に連帯や団結によって格差・差別などの社会的不平等を是正する取り組みとしての共済制度を持つことが出来なくなるからです。TPPは断固反対しなればなりません。会員の皆様ありがとうございました。

## 介護も原発も勉強になりそうー参加者増える

### 中地区 婦人部日本母親大会DVD観賞屋食会

六月十九日(火)、レストハウス青柳で、山の下支部・東山の下部・太平洋支部合同の婦人部昼食会を行いました。八月に新潟で日本母親大会が開催されるということで、まず実際にどのような行われたのか昨年の広島大会のDVDで学習しました。分科会の話題になると、「介護」問題は勉強になりそうだという声も。また、女性の立場から子どもに対する放射能汚染問題についての分科会も参考になるとの声が聞かれました。そこで参加者が二名増えました。



話題は母親大会の話にとどまらず、放射能の危険性から原発再稼働問題についても広がり、「原発が動いていなくても何の問題も起こっていないのだから再稼働する必要はないのでは」、「これ以上の核廃棄物をどうやって国は処理するつもりなのか」、「ガレキ処理問題は？」など原発の危険性については話題が絶えません。

次回またお茶会をしようということになりました

### シリーズTPPについて考える⑱

#### (1)経済のあり方を根本から考えてー続

アメリカで起きたリーマンショックも、サブプライムローン(お金がない人に安い金利でお金を貸すのならわかるのですが、逆に高い金利でお金を貸した)が発端でした。こんなことは、世界の歴史の中で何度も繰り返されてきたバブルなのです。しかもそれを証券化し、さらに他の証券と合わせ再証券化し、世界に売りさばくというあくどいことをしたのです。

日本でもバブルの時は、家を売らない人に対して「やぐざ」を使って売るように脅かしたとか、銀行が架空の預金証書を作ってそれを担保に何百億の金を貸したとか、冷静になって考えれば破綻することがわかることでした。資本主義の世界では、企業が利潤第一で行動するために、一定の社会的規制をしないと国全体の経済が失敗するのです。今では、実需の何十倍にもなるお金がコンピュータを通じて世界を駆け巡り、投機する対象を二十四時間探し続けているような世界なのです。各国が協力してこれらに一定の規制をかける必要があります。

## パソコン教室一年続きました

### 松浜支部婦人部

パソコンで記帳をやりたい。青年部の会員が法人設立を機会にパソコンに挑戦しました。材料仕入先の間屋さんから「法人だと安い値段で材料がおろせる」といわれた青年部員が法人設立に挑戦。まずパソコンで法人の定款作りから挑戦することになりました。ついては自分でもパソコン入力をしなくてはなりません。松浜支部の若い人たちに呼びかけてパソコン教室を開くことになりました。尾崎さんは、「インターネットは見えますがワードもエクセルもやったことがない」。そこでパソコンの使い方、ローマ字入力から勉強を始めました。子どもが保育園にいつている午後一時半からお迎えの三時まで。毎週火曜日に尾崎さん宅で赤ちゃんの子守をしながらの勉強会でした。



### ワードで会社の定款作る

ワードができるようになり法人設立の定款を自分で作成し設立登記を無事できました。大澤さんはお母さんの後を受けて記帳をすることになりました。初めての記帳で戸惑うことばかり。弥生会計で記帳をするると便利と聞いて早速ソフトを買って挑戦。最初に現金出納簿、預金出納簿の勉強をみんな勉強して手書きで完成させました。続いてパソコン入力です。保育園の「役員になったのでおたよりを出したい」とチラシ作り。「町内会の会計になったのでエクセルで会計報告を作りたい」など脱線しながらパソコン教室を続けてきました。

### 楽しいことが持続の原動力だった

民商のパソコン教室のテキストで記帳の勉強をして自分のつけた現金出納簿、預金出納簿を持ち寄り入力できるようにになりました。1年たつていよいよ試算表の作り方を勉強しています。「せっかく帳面をつけても一年経たないと儲けが分からないようではこれからの時代は商売を伸ばしていけない。売掛、買掛、未払い金など発生主義で記帳することでとうちゃん毎月臨時株主総会(?)を開いて今月の営業を家族で話し合いたい」と意欲満々。後もう少しで試算表が完成します。パソコンをしながら子育てや保育園、家族のことで盛り上がるてしまうこともしばしば。この楽しさが1年続いた大きな原動力です。